

コース名	高度ソフトウェアエンジニアコース		
講座名	応用ソフトウェア開発支援士講座		
科目名	実践演習・APIを活用したソフトウェア設計		
必修・選択	必修	単位	1
概要	APIを利用する実践的なソフトウェア設計を学ぶ。		
目的	ソフトウェア開発では、APIを活用して機能を改良することや開発工数の削減は頻繁に行われており、APIを利用する演習は実践的であり就業後に即役立つため。		
到達目標	実践的なソフトウェア設計の例としてLINEのボット制作を通じて、APIのセキュリティおよび使い方を習得し、他のAPIも利用できるようになる。		
授業方法	講義＋演習	評価方法	小テスト＋レポート
授業計画	1	APIについて学ぶ。	
	2	開発環境の構築を学ぶ。	
	3	LINEボット作成のための準備を行う。	
	4	オウム返しするLINEボットを作成する。	
	5	他APIと連携して自動応答するLINEボットを作成する。	
	6	LINEボットからプッシュメッセージを送る方法を学ぶ。	
	7	任意のAPIを使ったプログラムを作成する。	
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
使用教材	<b>【各自準備が必要なもの】</b> LINEアカウント		
特記事項			